



# 天国のアニマルファミリーからの贈りもの 「工藤桂一まるやま動物園応援基金」創設

## 1 故人の遺志を継ぎ基金を設置

この度、平成24年1月に亡くなられました工藤桂一様の遺産より1,000万円のご寄附をいただき、さぽーとほっと基金の冠基金として、「工藤桂一まるやま動物園応援基金」設置することとなりました。

闘病生活に入る前は年間300日以上も円山動物園に通い、母を亡くしたチンパンジー「レディ」やオランウータン「弟路郎」をアニマルファミリー（円山動物園の動物支援制度）として支えた工藤様が、天国からも動物たちを見守ります。

## 2 円山動物園の活性化に広く活用

円山動物園と市民自治推進室では、工藤様のご遺志を受け止め、ボランティアやNPOなど団体の力をお借りして、円山動物園の動物と来園者のために基金を広く活用してまいります。

### 【主な活用方法】

- (1) 動物たちの生活環境の充実 飼育スペースの植樹など
- (2) 動物園ボランティア活動の充実 備品整備等
- (3) 円山動物園訪問支援活動 来園が困難な方を動物園にお連れする活動など

## 3 円山動物園訪問支援活動（「みんなで動物園」支援活動）を公募します

基金を活用して、様々な困難を抱え、円山動物園を訪れる機会に恵まれない方たちを動物園にお連れする活動に助成をいたします。

市民活動団体の皆様におかれましては、ぜひご応募を検討ください。

- (1) 応募期間 平成24年6月25日～7月6日（金）  
※夏休みの事業にも間に合うよう、募集期間が短くなっております。
  - (2) 事業期間 平成24年8月1日～平成25年3月31日
  - (3) 対象団体 「さぽーとほっと基金」登録団体（同時に登録手続きも可能）
  - (4) 助成金額 応募総額50万円、1事業あたり助成額10～30万円  
※助成対象経費総額の1/2を助成  
※札幌市市民まちづくり活動促進テーブル審査会により、助成先、助成金額等を決定します。
  - (5) 対象事業 「みんなで動物園」支援活動
  - (6) 募集要項配布 札幌市役所13階市民自治推進室、区役所、まちづくりセンター
- ※平成25年度以降も同様の事業公募を予定しております。



### 【工藤桂一様 略歴】

昭和19年3月札幌市生まれ。

昭和40年より機械科教諭として札幌工業高等学校で教鞭を執る。

平成5年美唄高等学校に転任。

平成16年3月定年退職。

退職後、ウォーキングを兼ねて円山動物園に通うようになり、生後2か月母を亡くしたチンパンジー「レディ」を見守る。円山動物園に寄贈された遺品のデジタルカメラには沢山のレディの写真が残されていた。

身近な親族はいらっしゃらなかったが、動物園で知り合った人（ZOO友）との交流を楽しむ。

平成22年9月にがんが発見され闘病生活を開始。12月、入院治療中に脳梗塞により半身麻痺となる。

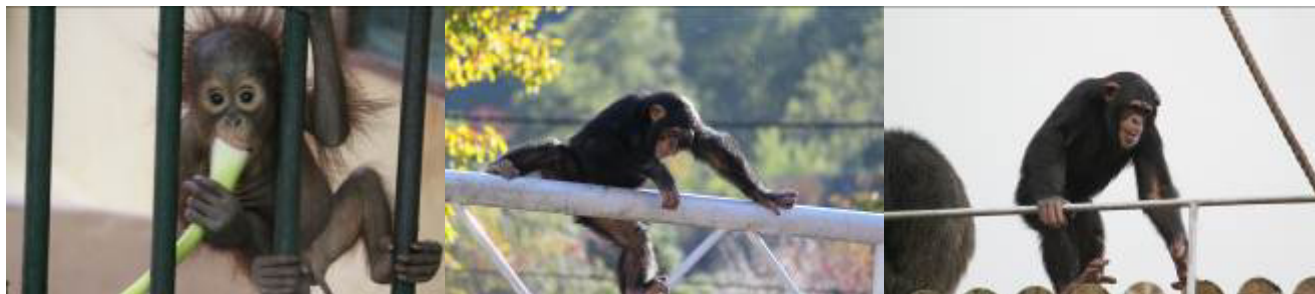
入院生活中も動物の話題を通じて病院スタッフや入院患者との親交を結ぶ。

最後の動物園訪問は、休暇を取った入院先の病院スタッフやZOO友が付き添って実現。車椅子で動物園を訪れた工藤様は、生き生きとして動物たちとの時間を楽しまれた。

平成24年1月26日 ご逝去。



【工藤桂一様】



【撮影：工藤桂一様】